

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 14 日

評価対象事業		評価者	総合防災課長	末次 健治
防災-02	実施事業	防災運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 総合防災課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	防災・安全	施策の方針	地震対策・風水害対策の充実

1 事業の目的

対象	市民等
意図	地震・風水害などの災害から市民の生命・財産を守るため。
効果	都市防災の推進に努めると共に、総合的な防災対策の強化を図り、災害に強いまちにする。

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 鎌倉市防災会議の運営を行った。 総合防災訓練及び各種防災啓発事業の実施を行った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)決算		02年度(2020年度)当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,308人	81,763世帯	176,436人	82,444世帯	176,608人	83,058世帯	・各年3月31日(住民基本台帳)
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	2,880	2,820	当初予算(千円)	2,665		
	国県支出金			国県支出金			
	地方債			地方債			
	その他			その他			
	一般財源	2,880	2,820	一般財源	2,665		
	人員配置数	0.5	0.5	人員配置数	0.5		
	人件費(千円)	4,276	4,405	人件費(千円)	5,670		
事業経費	総事業費(千円)	7,156	7,225	総事業費(千円)	8,335		
	市民1人当りの経費(円)	41	41	市民1人当りの経費(円)	47		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求むることができない
		△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△. 協働未実施
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	事業へ統合
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する				
予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	災害対策基本法第42条に基づき定められた地域防災計画の推進が主事業であるため、予算も委員報酬や訓練の実施に係る委託料など固定的な経費が中心である。また、災害の多様化により各種計画の見直しが必要であるため、予算規模の拡大が必要である。		
	<input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する					

総評(評価に対する考え方、根拠等)	<p>地域防災計画による総合的・効果的な災害対策を実施している。</p> <p>近年においては、地震・津波災害のみならず台風、局地的豪雨や土砂災害など、大規模災害に対する脅威が高まっており、そうした災害に対して総合防災訓練等、様々な状況を想定した訓練の実施により、住民の防災意識や地域防災力の向上に努め、自助・共助・公助のバランスがとれた総合的な防災体制を強化する取組が求められている。</p> <p>度重なる台風被害や新型コロナウイルス等に対する対策の必要性により国の方針が新たに示されるなどしており、防災計画等の見直しの必要性が見込まれる。事務量が増大するため、効率的な事務処理を図るとともに体制強化についても検討する必要がある。</p>
-------------------	---

令和元年度(2019年度)事業実施にあつての課題(前年度未解決の事項を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 市HPで平常時から井戸所在地と所有者の氏を公開しているが、個人情報の意識の高まり等により公開を断られることがあることから、制度の趣旨を説明し理解を得る必要がある。 	
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	<ul style="list-style-type: none"> 災害時に利用する井戸に関して、市民からの問い合わせに適切な対応を行い、引き続き制度の趣旨を説明し理解を得られるよう努めた。 	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	<ul style="list-style-type: none"> 各種計画の見直しが必要である。 今後も災害時に利用する井戸への理解と協力を得るため水質検査項目内容も含め説明する。 	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名									
他市実績									

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方									
----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	単位	指標の傾向		備考				
当該指標を設定した理由		H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	
	年次							
	目標値							
	実績値							
	達成率							

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方									
-----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--